

様式(細則 5-2)

令和 4年 8月 2/日

浜田市議会議長

尾崎 卓

様

議員名 牛尾 昭

調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため視察等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 令和 4年 8月 12日 ~ 8月 12日
2. 視察内容 「ファクトでわかる日本の世帯」おろし。
3. 視察先 (持式会社) NAGAI
4. 調査経費 3300 円
(経費内訳 円、 円)
5. 調査研究活動の概要

別紙にて。



1、研修先：(株毛合社) N A G A I

2、目的：ファクトでつかむ日本と世界

3、期間：令和4年8月12日。オンライン研修会。

4、講師：藻谷浩介氏。

1、コロナ対策

日本は、抑止に照準。

政府よりも世間の目が感染抑止。

*加藤厚労大臣の再登板

厚労省任せで政治介入せず。

2、ロシア問題

*この問題を誤解しないために、ヒトラーはオーストリア人、スターリンはジョージア人、ロシアを作ったのはスウェーデン人、プーチンは共産主義者ではない。ロシアは多民族を正教で統合した。ロシアでは血筋は重要視されない。ロシアが弱体化して喜ぶ国は、中国とトルコである。

中国は、日本海の出口の沿海洲が欲しい。

トルコは、ウイグル・キルギスからのベルト地帯が欲しい。

なぜ、ロシアは戦争をするのか？①アメリカに対抗したいか

ら②西欧諸国に対抗したいから③国境の引かれ方がおかしいから。

スターリンの呪い～毛沢東は、スターリンの言いなりだった。

3、日本の国民・国家の話し。～円安で日本の競争力は～
1989年と2021年を比較すると、輸出は倍増している。
輸入は、バブル期、31兆円。今は殆ど一緒。

輸入は、食糧10兆円+化石燃料15兆円=25兆円増で黒字は消滅～アベノミクスのせいである。

*世界の景気は落ちる。

2021年の経常収支黒字国は、イタリア・スイスである。

日本の黒字相手は、米国、中国、台湾。

①輸出競争力は、いくらでもある。

②目先の安さで輸入に依存すると苦しむ。

③食糧・燃料・建材の循環再生をする。

④東京は時代遅れの巨大恐怖都市。

*福岡大学：木下敏之教授

ヨーロッパには、東京どころか京阪神もない。クリエイティブが起こる都市の規模がある。中国でも、革新は北京や上海

では起きていない。シンガポールは一つが出来るまで次へ行かない。福岡は手を広げすぎる。外国人には、日本人のような東京神話・信者はいない。日本の最大の魅力は、田舎、自然が豊かなのに生活は便利、天災にも強くコロナにも強かった。

*人口増加の大都市圏4つのリスク。

- ①天災リスク。
- ②少子化加速リスク。
- ③高齢者急増リスク。
- ④食糧&エネルギー自給率低下リスク。

*21世紀は、昭和とは違う。

2010年～2020年で売上げが伸びた産業は、林業である。3次産業は伸びていない。クリエイティブな人は、田舎で起業。ITを使える若者の田舎暮らしは、急増している。

- ①田舎で家と田畑を借り②ネットで稼ぐ③飲食店や農業で兼業④たまに、都会で打ち合わせ。

考察、生活のサイクルが完結する田舎で、若者が暮らしたくなるような空間づくりが必要である。また、今後の一番の伸

びしろがある林業で生活が出来るモデル事業が必要である。
いずれにしても、先般のスマート・テロワール協会の講演会
でもあったが、耕作放棄地で小麦などを作り、自給率をあげ
て自家製パンや自家製ビールを作り、田舎を楽しむ新しい生
き方の提案が必要である。

以上、報告致します。牛尾昭。